見守り新鮮情報　第 253 号

平成 28 年 5 月 13 日

◇発行：独立行政法人国民生活センター◇

のどや食道を傷つけることも！薬の包装シートの誤飲に注意

朝食後、家族が切り取って渡した内服薬を PTP 包装シートごと飲み込んだ。

のどにつかえた感じがあり、近所の病院にかかった後、救急車で他の病院に運ばれ、胃カメラで食道から PTP 包装シートを回収した。（90 歳代　男性）

＜ひとこと助言＞

・プラスチックにアルミなどを貼り付けた PTP 包装シートに入った薬を、PTP 包装シートごと飲んでしまい、のどや食道などを傷つけたという事故が多く見られます。痛みなどの症状が表れるまで誤飲に気付きにくく、重症化する恐れもあります。

・PTP 包装シートを切り 1 錠ずつにすると、飲み込みやすいサイズになってしまう上に、切った角が鋭くなり危険です。1 錠ずつに切り離してはいけません。

・万が一 PTP 包装シートを誤飲した場合、のどにつかえる等の違和感があったら、医療機関を受診しましょう。日ごろから休日、夜間に受診できる医療機関の連絡先を確認しておくことも大切です。

■イラスト入りリーフレット（PDF 形式）は国民生活センターホームページ

http://www.kokusen.go.jp/mimamori/mj_mglist.html

※リーフレットの文面はメールマガジンと同じものです。

本情報は、国民生活センターの公表情報をもとに編集・発行しています。

詳細は、「高齢者の誤飲・誤食事故に御注意ください！」[PDF 形式]（消費者庁）

http://www.caa.go.jp/safety/pdf/150916kouhyou_1.pdf

全国の消費生活センター等の相談窓口

http://www.kokusen.go.jp/map/index.html